

## 2023 年度総合知シンポジウム（レジュメ）

講演テーマ：「総合知と社会性の視座」

### 1. 総合知の重要性

デカルト、ニュートン、ライプニッツ etc

⇒ 数学者・物理学者は同時に哲学者！

Covid-19

ワクチン、治療薬、診断技術（医療）

感染拡大の防止／社会経済活動の維持・発展（公衆衛生・データ解析）

行動様式の変化・SNSを通じた情報発信

⇒ 医療だけでなく、人文・社会科学も含めた様々な専門的な知見の必要性

### 2. nested crises（別紙参照）

現在の世界： polycrisis（複合危機）に直面

世界が直面する二つの危機

- ・ 生態系の崩壊（気候変動問題、パンデミック）
- ・ 格差の拡大・固定化・再生産

加えて、破壊的技術（生成 AI、バイオ・ゲノム）の登場

⇒ 我々が直面する危機はより一層複雑に

しかも、こうした危機は、一国だけでは解決できない

⇒ 国際協調が必要 BUT 世界は分断の危機・・・

ドイツの著名な哲学者 ボン大学のマルクス・ガブリエル教授

⇒ 現在の危機は“nested crises”

危機が入れ子状態（nested）、相互に影響、複雑系（complexity）を成す

### 3. サステイナブルな資本主義

危機の根底に「行き過ぎた資本主義」

BUT 資本主義の問題を克服するのも、また資本主義

⇒ 経団連「サステイナブルな資本主義」(岸田内閣「新しい資本主義」)  
社会課題の克服と持続的な経済成長を両立  
「成長と分配の好循環」の実現

### 4. 科学の力(Power of science)

「成長」のキーは「科学の力」

例 : Covid-19 に対する mRNA ワクチン(カタリン・カリコ博士 ノーベル賞)  
2050 年 CN に向けた GX の推進

### 5. 分厚い中間層の形成

ホモエコノミクスの限界。一人一人に注目した丁寧な「分配」

「マクロ経済政策」「社会保障・税制」「労働政策」の3つを一体的に(別紙参照)

### 6. 大阪・関西万博

Society 5.0 for SDGs のモデルを日本から世界に

### 7. 終わりに～社会性の視座(from the social point of view)

「社会性の視座(from the social point of view)」の重要性

市場原理だけでなく、倫理・価値判断といった社会性の視点の重要性

ケインズ 「経済学は、道徳科学・モラルサイエンスであり、内省と価値判断を伴う」

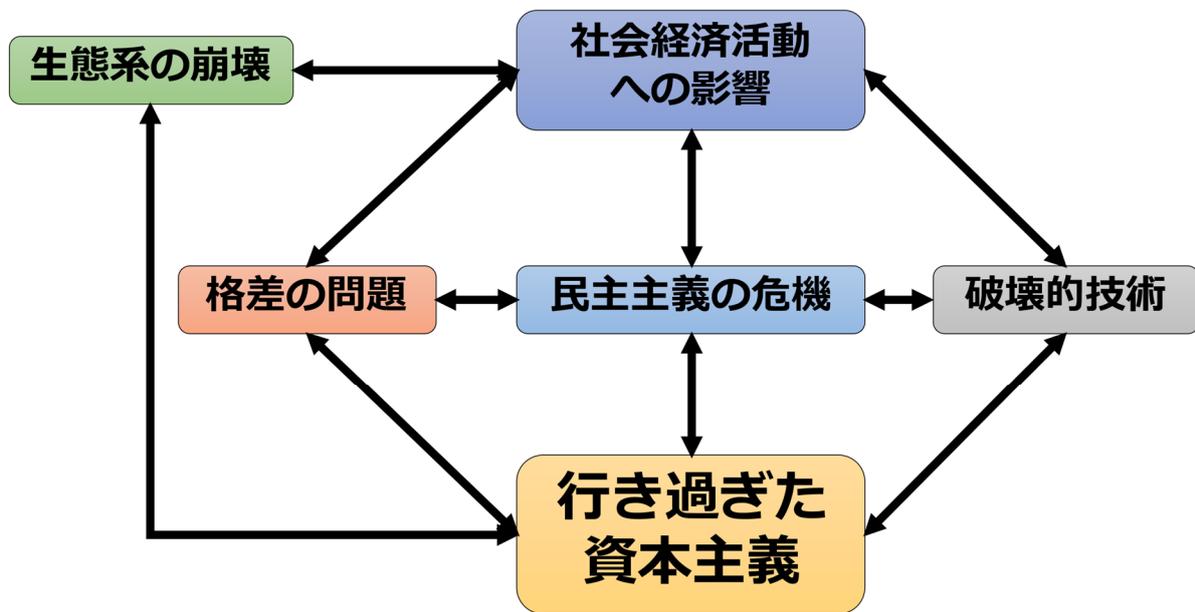
破壊的技術 ⇒ 人文科学・社会科学の視点が必要

⇒ 総合知(自然科学+人文・社会科学(倫理・価値判断))が重要に

⇨ 「社会性の視座」

# 危機の入れ子状態 (nested crises)

by Markus Gabriel



## 分厚い中間層の形成に向けた3つの柱の相関図

